

漢川善書の台書上演——『奎星下界』を例として

林 宇萍・阿部泰記

一 はじめに

湖北省漢川市では伝統的な説唱形式の「聖諭宣講」が継承されている。筆者は月刊雑誌『布穀鳥』一九八〇年十一・十二期（湖北省群衆芸術館）掲載の劉德謙（漢川県馬口鎮業余善書組）執筆・漢川県馬口文化分館整理「飛鴿牌案件」と、同誌一九八一年十一、十二期掲載の『匕首案』を読んだことを機に、二〇〇二年十月に漢川市文化館を訪問し、当時の館長であった魏文明氏から文化館に蔵するテキストや上演場所を紹介していただいた。その際に春節には「台書」と言って、舞台を構築して三日三晩にわたって上演を行うという教示を受けた。以後、ほぼ毎年のように台書の調査を行っているが、現代の宣講では小説戯曲の物語を上演することが多くなっている。二〇一三年二月には漢川市馬口鎮廟湾村蔡城路一号において『奎星下界』（別名『包公出世』、二〇一一年五月熊廻国編）を聴取した。本稿ではその実演記録を整理して記録することにする。

二 小説の改編

本書は小説『三俠五義』の冒頭の「狸猫換太子」の一段を改編した作品である。『三俠五義』とその叙述を比較してみると、廬州合肥県の員外包懐夫婦と長男次男夫婦を描写した一段の類似性は明らかである。

江南廬州府合肥県内有箇包家村、住一包員外、名懐、家富田多、驟馬成群、為人樂善好施、安分守己、因此人人皆称他為「包善人」、又曰「包百万」。包懷原是謹慎之人、既有百万之称、自恐担当不起。他又難以攔阻衆人、只得將包家村改為包村、一是自己謙和、二免財主名頭。

院君周氏、夫妻二人皆四旬以外、所生二子、長名包山、娶妻王氏、生了一子、尚未滿月。次名包海、娶妻李氏、尚無兒女。他弟兄二人雖是一母同胞、却大不相同。大爺包山為人忠厚老誠、正直無私、恰恰娶了王氏、也是箇好人。二爺包海為人尖酸刻薄、姦險陰毒、偏偏娶了李氏、也是心地不端。虧得老員外治家有法、規範嚴肅、又喜大爺凡事寬和、諸般遜讓兄弟、再也叫二爺說不出后来、就是妯娌之間、王氏也是從容和藹、在小嬸前毫不較量、

李氏雖是刁悍、他也難以施展。因此一家尚為和睦、每日大家歡歡喜喜。父子兄弟春種秋收、務農為業、雖非詩書門第、却是勤儉人家。（『三俠五義』）

書出宋朝第三帝真宗在位、江南省廬州府合肥縣包家莊、有位員外包懷、富蓋一境、為人安分守己、樂善好施、因此地方人稱他為「包善人」、也有人稱「包百萬」。包懷是個謹慎人、這種稱呼、自己得担当不起、又攔不住別人的口舌、只得將「包家莊」莊牌改為「包村」、一是本人謙虛、二免了浩大的財主名頭。

包懷的安人周氏、賢德良善、膝下二子、長子包山、次子包海、都已成人娶妻。雖是一母所生、心性却不一樣、老大包山為人忠厚老誠、正直無私、妻子王氏、賢淑無比、生下一子、尚未滿月。老二包海為人奸詐陰險、刻薄毒惡、妻子李氏、刁惡不賢、又無生育。幸虧包懷治家有方、家規嚴禁、大兒大媳凡事寬容、讓兄弟弟媳三分、毫不計較。因此還算和睦、父子兄弟春種秋收、務農為業、雖不是詩書門第、却是勤儉人家、在地方聲望很高。（『奎星下界』）

だが本書は宣講書であり、決して小説のように散文のみで物語を叙述せず、作中に人物の「宣詞」を挿入してその言葉によって物語を表現するところに特色があり、例えば、小説で員外包懷が夫人周氏の高齡出産を心配する語り手による叙述は、包懷と周氏の「宣詞」に変換して表現している。

不意老院君周氏安人年已四旬開外、忽然懷孕。員外併不樂意、終日憂愁。

你說這是甚麼意思呢。老來得子是快樂、包員外為何不樂。只因夫妻皆是近五旬的人了、已有兩個兒子、併皆娶媳生子、如今安人又養起兒女來了。再者院君偌大年紀、今又生產、未免受傷。何況乳哺三年更覺辛勞、如何禁得起呢。因此每日憂煩、悶悶不樂、竟是時刻不能忘懷。這正是「家遇吉祥反不樂、時逢喜事頓添愁。」（『三俠五義』）

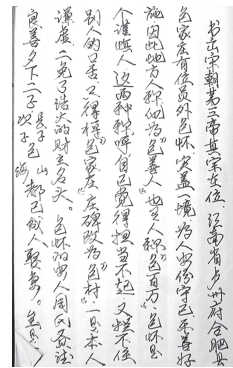
單講包懷員外、年已四十四歲、安人周氏四十三歲了。却身懷有孕、已經出了懷。員外不樂。周氏問員外為甚長聲短嘆。

一回「員外對周氏安人」

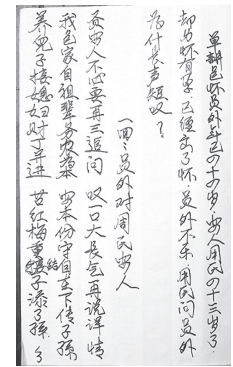
賢安人你不要再三追問。嘆一口大長氣再說詳情。我包家自祖輩務農為本。安本分守自在下伝子孫。養兒子接媳婦財丁並進。喜紅梅重結子添了孫孫。我只望兩個兒子星昌盛。天保佑我包家子孫繁榮。万不料賢安人身懷有孕。添了孫你已經年過四旬。平素日你就是體弱多病。早與晚靠丫環扶持慇懃。

「周氏還詞」

聽此言勸夫君心放平靜。謝員外說的話體貼人心。兒女是前世修命中注定。種籽是隔年留古言常云。員外夫再莫把自己責懲。我夫妻可說是行善一生。善者學惡者戒抱這根本。在地方從來不利己損人。幸喜得一家人子媳和順。望綠竹又生孫四季清平。雖說是四十三妻又有孕。按因果就應該不是災星。……（『奎星下界』）



『奎星下界』 テキスト



「宣」 第一回

三 実際の上演

1. 『関帝桃園明聖經』の読誦

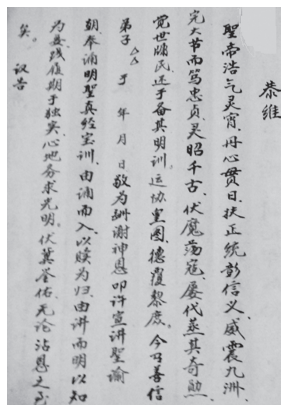
漢川善書は現在では漢川文化館の指導の下、固定のグループ（徐忠徳・熊廻国・許国平・祁敏先・周春娥・呉厚木）が「漢川文化館善書宣講団」と称して上演を行っている。「聖諭宣講」は二月十七日の午後十二時から開始した。上演に先立って、上演者によって『関帝桃園明聖經』が読誦された。

恭維 聖帝浩氣凌霄、丹心貫日。扶正統以彰信義、威震九州。完大節而篤忠貞、靈昭千古。伏魔蕩寇、屢代傲其奇勳。覺世牖民、寰宇披其明訓。運協皇圖、德覆黎庶。弟子某、於某年月日、敬為酬謝神恩、叩許宣講聖諭、朝奉誦『明聖真經寶訓』、由誦而入、以熟為歸。由講而明、以知為要。踐履期於篤実、心地務求光明。伏冀鑒佑、無任沾恩之至矣。謹告。

畏れ多くも聖帝の浩氣は霄を凌ぎ、丹心は日を貫く。正統を扶けて信



『関帝桃園明聖經』の読誦



『関帝桃園明聖經』（徐忠徳）

漢川善書においては清朝時代の『聖諭広訓』牌は祭壇に置かれるが、その読誦はなされず、代わりに『関帝桃園明聖經』の読誦が行われるようになったと考えられる。

義を彰かにし、威は九州を震わす。大節を完うして忠貞を篤くし、靈は千古に昭かなり。魔を伏して寇を蕩かし、ば代わって其の奇勳を傲す。世を覚まして民を牖^{みちび}き、寰宇は其の明訓を披る。運は皇に協い、徳は黎庶を覆う。弟子某、某年月日に於いて、敬して神恩に酬謝を為し、叩して聖諭を宣講するを許す。朝に『明聖真經寶訓』を奉誦し、誦によって入り、熟を以て帰と為す。講によって明るく、知を以て要と為す。踐履して篤実を期し、心地は務めて光明を求む。伏して鑒佑を冀い、恩にうるおうの至りにたうる無し。謹んで告ぐ。

2. 講説の付加

『関帝桃園明聖経』の読誦を終えると、徐忠徳氏をはじめとする芸人諸氏は舞台に移動し、善書の上演に取りかかった。『奎星下界』の上演はテキストに基づいて行われたが、冒頭に「主案」の熊廻国氏によって即興的に講説が付け加えられ、話本のように、勸善懲惡の主旨と物語の内容を概説した。

「世世翻騰如転輪、眼前吉凶未為真。請看久久分明応、天道何曾負善人。」
一切事情、都是瞬息万変、有一句常言説、「謀事在人、成事在天。」有一些悪人、傷天害理、總是怕別人曉得了。人巧於計謀、天要巧於報応呀。是非也好、善与悪也好、到了時候、一切還是有公理、還是有個報応的。總教善人、要努力向善。用現在的話來説、後輩子孫、不能夠違条反法、要安分守己、堂堂正正、規矩矩做人、要維持現在的和諧社会。這幾句閑言、也就是余下要叙述的引語呀。今天的善書題目、昨天已經説出來的、叫『奎星下界』。這是個甚麼意思呢。「奎星」就是二十八星宿之首。奎星就是北斗七星第一顆。這本書還有個名字、又叫做『包公出世』、這是白話小説『三俠五義』的一冊「狸猫換太子」。今天説這個『包公出世』、説是仁宗天子和那包文拯、一朝的君子、一朝的臣。因為「狸猫換太子」、是仁宗太子受的磨難、這個『包公出世』那裏面還有許多曲折、余下把具体話來表。我要把書本打開、照書念字、馬得胡言。(上演)

「世の中転々車輪のごとく、目前の吉凶わからぬが、長く見れば明ら

かで、天は善人に背かない。」一切のことは瞬息に変化しますが、諺にも「人が謀をしても、決定は天がする」と言うように、悪人は天理に背く行いをする、結局は人に知られることを恐れるものであり、いくら人が計略に長けても、天はさらに応報に長けています。是であつても非であつても、善であつても悪であつても、時が来れば、すべて公理で裁かれ、あるいは応報があるものです。結局善人に一層の善行を勧めており、今の言葉で言えば、若い子孫に対して、法律に背かず、分に安んじ己を守り、正々堂々と、まっすぐな人間になつて、今の和谐社会を維持するよう教えているのです。こうしたお説教はこれから話すお話の前置きです。今日の善書の題名は昨日申した『奎星下界』です。それはどういう意味かという、「奎星」とは二十八星宿の第一星で、北斗七星の一個目の星です。本書のまたの名は『包公出世』とも言い、白話小説『三俠五義』の「狸猫換太子」の一部であり、本日の『包公出世』では、仁宗天子と包文拯は、一朝の君子と一朝の臣下です。「狸猫換太子」は仁宗太子の受難の話ですが、『包公出世』でもストーリーに曲折があり、私が具体的にお話します。私はテキストを開いてその通りに読みます。決していい加減な話はしません。

また上演では、テキストの文字と比較してみると、傍線を施したところのように、かみ砕いて時によってはくどいほどわかりやすい叙述に改めているため、かなりの長文になっている。

書出宋朝第三帝真宗在位、江西省廬州府合肥縣包家莊、有位員外包懷、富蓋一境、為人安分守己、樂善好施、因此地方人稱他為「包善人」、也有人稱「包百萬」。包懷是個謹慎人、這兩種稱呼、自己覺得担当不起、又攔不住別人的口舌、只得將「包家莊」莊牌改為「包村」、一是本人謙虛、二免了浩大的財主名頭。

包懷的安人周氏、賢德良善、膝下二子、長子包山、次子包海、都已成人娶妻。雖是一母所生、心性却不一樣、老大包山為人忠厚老誠、正直無私、妻子王氏、賢淑無比、生下一子、尚未滿月。老二包海為人奸詐陰險、刻薄毒惡、妻子李氏、刁惡不賢、又無生育。幸虧包懷治家有方、家規嚴禁、大兒大媳凡事寬容、讓兄弟弟媳三分、毫不計較。因此還算和睦、父子兄弟春種秋收、務農為業、雖不是詩書門第、却是勤儉人家、在地方聲望很高。

書出宋朝、有真宗天子在位。地方乃是江西省廬州府所管有個合肥縣、離合肥縣城沒得好遠、有個包家莊。包家莊上有一個員外、名叫包懷的、萬貫的家財。員外的安人是賢淑找不到幾條巷的。老安人那起初、員外為人比較謹慎的。雖不是詩書門第、却也是勤儉人家的。(上演)

老安人過得門來、一把子就要了兩個兒子。大兒子叫包山、小兒子叫包海。兩個兒子、在那學生那個時候、就接媳婦、已經都成了人囉。大兒子包山的妻子姓王、叫王氏。小兒子包海的妻子姓李、叫李氏。兩弟兄、兩妯娌、至少有衣宿吃喝、有山有田、有舍有園。兩個兒子、個性不同的。大兒子老實、為人本分、忠厚良善。這個第二個兒子、不是好馬子出來的、為人又奸詐又貪凶、又刻薄又歹毒。這也是巧的。之所謂的、世出一對、又出一雙。大兒子為人本分忠厚、妻子王氏、人又賢惠。又講孝道、又

美貌、又喜歡做善事。第二個兒子、為人貪詐、接的媳婦呀、醜不出像、千刁万惡、又不賢、又不育。不賢、就是不賢惠、不育、就是沒得生育。從來沒有生過的呀。老員外治家有方。当家的人、就像開船的舵把子、如果要是舵把子撐不穩、那就要翻船的呀。老員外的安人、治家又廉潔、治家又有方呀。大兒子大媳婦王氏、凡事都讓老二、所以一家人、倒也還親熱呀。這個包家的人、在地方上聲望很大、只說包懷和周氏安人、那方円百里周圍、個個曉得的呀。回話話頭、再講周氏安人、現在年紀四十個有三呀。員外四十四歲、安人四十三歲、却還生娃子。大兒子包山和王氏養了個驃馬、還沒有滿月呀。真是讓人喜不過。婆婆老人四十三又懷胎、褲扣子都扣不攏。老員外有一点点不快活的。怕的一旦是那個安人要是解懷、那一閤是不好過的呀。把我的媽差点疼死了、吃虧呀。老員外不快活。老安人周氏想我的老伴為麼不快活。「家人哪。把員外喊到我的房裏來一下着。」家人不敢違、到了前面客房去喊員外。「員外。哎。員外。」「你在喊麼事呀。」「唉、有事。有事情。」「那你前面帶路。走了。」「走呀。」「走呀。」

3. 「宣詞」の「あいの手」

また上演には人物の「宣詞」が挿入され、「扶案」の許国平氏が扮する包懷の「宣詞」に、同じく「扶案」の周春娥氏が扮する周氏が「あいの手」を入れ、続いて入れ替わって、周氏の「宣詞」に包懷が「あいの手」を入れて、二人の感情や物語の内容をわかりやすく表現して

いる。これらはテキストには記載されておらず、即興的に挿入したものとと思われる。(なお方言の聞き取りが困難で記録不能のため空欄にしたところがある。)

一回 員外対周氏安人

賢安人你不要再三追問。(周氏)「你為麼事嘆氣噢。我這個心不舒服呀。」
我妻よおまえは何度も尋ねるな。「あなたなぜ溜息つくの。私とても不愉快だわ。」

嘆一口大長氣再說詳情。(周氏)「你是為麼事嘆氣、你要講個明白的呀。」
私が溜息をつく事情を話そう。「どうして溜息つくか、はっきり話さないよ。」

我包家自祖輩務農為本。(周氏)「有那本事有、那個不好的呀。」

我が包家先祖代々農民である。「その仕事があれば、いいじゃないの。」
安本分守自在下伝子孫。(周氏)「是的。你就把個本事、不愁個吃的哟。」
分に安んじ自由を守り子孫に伝えた。「そうよ。その仕事があれば、生活に困らないわ。」

養兒子接媳婦財丁並進。(周氏)「嗯。」

息子でき嫁を迎えて一家は栄え。「そう。」

喜紅梅重結子添了孫孫。(周氏)「結了子子孫孫呢、就是高興的事啊。」

紅梅に実が重なって子孫生まれた。「子孫が生まれたら、うれしいことじゃないの。」

我只望兩個兒子星昌盛。(周氏)「嗯。」

願うのは二人の息子が孫を生み。「そう。」

天保佑我包家子孫繁榮。(周氏)「說到這裏來、我有句話不好對你說。我又有了呀。」

天加護し包家の子孫の繁榮を。「ところでね。恥ずかしいことだけど、私また懐妊したの。」

万不料賢安人身懷有孕。(周氏)「是的呀。年紀這麼大、說的不好聽呢。」
図らずも我妻懐妊したという。「そうなのよ。この年で、口にするのも恥ずかしいわ。」

添了孫你已經年過四旬。(周氏)「這是實話。我這也是沒得法囉。」
孫生まれすでに四十を過ぎたのに。「本当なの。私にはどうしようもないわ。」

平素日你就是體弱多病。(周氏)「就是。甚麼事做不得、都靠丫環呢。」

常日頃おまえは身体が弱いのに。「そうよ。何でも女中に任せているのにな。」

早与晚靠丫環扶持慇懃。(周氏)「員外。按我的年齡、確實不行哪。」

朝晩は女中の世話になりながら。「旦那様。この年では、本当に無理ですよ。」



上演を開始する主案



包懷と周氏に扮する扶案

四 上演の記録

本節ではこの作品の上演について、その全体を以下に記録する。(日本語訳は省略した。聞き取りができず、記録不能のため空欄にしたところがある。また三回以後の「宣詞」の間の手は、紙数の関係で省略した。)

一回 員外对周氏安人(続)

「按年齢已经是氣血虧損。(周氏)「這個冤孽上了身囉。我也沒得法了。」
為甚麼却懷這冤孽上身。(周氏)「十月懷胎、我沒得辦法啲。」 十月的懷胎苦我且不論。更還有三年的乳哺殷情。(周氏)「你說得確實不錯。就是担心我呀。我的身體確實不行了呀。」 担心你年紀邁身體受損。一旦是要解

懷受不起折騰。(周氏)「員外。只有聽天由命哪。」 妻說是到時候聽天由命。(周氏)「你還有沒有麼話對我講的呀。」 說到此為夫的還有下情。(周氏)「看你說話吞吞吐吐、好像含言不吐呀。」 話到唇邊我却有難言之隱。
(周氏)「那你快些交起磨子、盤起鑼呀。」 怕兒媳說笑話臉面何存。
(周氏)「還怕呀。就是怕麼事。」 我都是我前世缺少德性。(周氏)「只怪我。只怪我。」 連累了賢安人得此災星。」

周氏還詞

「聽此言勸夫君心放平靜。(員外)「你都到四十歲了。你怎麼又懷到孕哪。」
謝員外說的話體貼人心。(員外)「接個媳婦了。你也懷了、不好呀。
我的安人哪。」 兒女是前世修命中注定。(員外)「要來嘛你早點來呀。」
種籽是隔年留古言常云。(員外)「我都不怪你。安人呀。只怪我囉。」
員外夫再莫把自己責懲。(員外)「是的呀。行善的人、到了四十歲還要懷孕囉。」 我夫妻可說是行善一生。善者學惡者戒抱這根本。在地
方從來不利己損人。 幸喜得一家人子媳和順。 望綠竹又生孫四季清平。
(員外)「你的身體又是瘦的、都到四十三歲來了。到時你奈得何的呀。」
雖說是四十三妻又有孕。 按因果就應該不是災星。(員外)「不是災星嗎。
你要吃大虧、安人哪。你感覺吃力的呀。」 積善家天保佑這是一定。(員外)「還不曉得你肚子懷的是個麼事我的安人呀。」 到老來落一個福壽康寧。(員外)「懷得吃不吃虧呀。」 妻受孕一定是神祖庇蔭。(員外)「把那個孕添了懷了、你感覺到不吃力的呀。」 有感覺並不是身不從心。(員外)「食呀宿呀、都安穩嗎。」 不吃力不吃虧食宿安穩。(員外)「那可都
得。我怕你那兒子媳婦、罵你個老婆娘又懷孕了。」 細思想一切事勝過年

輕。(員外)「那陰倒是要哭的。你要吃大虧、安人哪。你感覺吃力的呀。」

莫担、心兒媳們怕有言論。員外夫家規嚴誰不知聞。或生男或生女包門有幸。(員外)「不管生男生女、都是包家的根哪。」只唯求祖庇蔭發財發人。(員外)「那都是祖上有德呀。」請夫君解愁眉、心安穩。說不定生一子改換門庭。」(員外)「是的呀。你是有理的呀。」

〔講〕賢德的周氏說的話、都是在寬員外的心、暗暗做重活、挨棟子角、想打掉這一胎。誰知像生了根一樣。反被二媳李氏嘲諷「媳婦養你無廉恥、婆婆養你正當時。」周氏聽了、悶在心裏、在員外面前說二媳婦的話幾百個好。其實大媳婦是真好、總是寬婆婆的心。

轉瞬數月、一日員外獨坐書齋、想到安人早晚就要分娩、不覺困倦、伏几而臥。朦朧之際、天降祥雲、繚繞、紅光一閃、落下個怪物、頭生雙角、青面紅髮、巨口獠牙、左手拿銀錠、右手執朱筆、往安人房去沖去。員外大叫一聲醒來、才知是夢、心中亂跳。丫環來報安人產生一子、是大奶奶招呼的。員外嘆了口氣說、「家門不幸、生此妖邪。」到房中見安人無恙、只是血昏了、并不看小孩。出房遇次子包海、說夢情景、員外回書房去了。

列位、安人所生、并不是妖怪、而是「奎星下界」。奎星乃廿八星宿之首、就是以後的包公。書上正題。再講包海、回到自己房中說與李氏聽了「二一添作五」的家當、變成了「三三三十一」了。李氏唆夫去商量老子、趁母昏迷、丟掉妖邪、切莫題家當的事。包海到書房見父。

員外呀。這時安人懷毛毛、還想不吃虧呢。都是為了寬員外的心囉。待到員外走時、她做重活的。提水啣、搬東西、想把肚子裏的孽種磨掉的啣。這時安人想的麼事。她在屋子裏、那兩手把小卓子、撐到肚下、就卓

子角上、對得到擗、對得到撐呀、連卓子角都要把它挨下來。挨卓子角、它也挨不掉、像長了帶把在那裏。她那個第二個媳婦李氏呀、見婆婆肚子大了、不好意思還在挨卓子角。那個媳婦她有幾拐呀、「呀、呀、婆婆呀。你在挨麼事呀。」那媳婦好不廉恥。「婆婆要生到時、養得好好的呢。」鬧得婆婆臉都紅的。「婆婆呀、我的婆婆呀。養他不活的呀。到了這大的年紀、還能懷胎解懷啣。沒得延年益壽、活到一百歲的啣。」這個媳婦的話、聽得婆婆、找不到幾快活啣。婆婆她老人家、挨到老頭子的家法、說話都滿謹慎的呀。那兩個媳婦都還好呀。其實是一個好一個拐呀。那個第二個媳婦找不到幾拐的。

轉眼間、過了幾個月了。這時安人呀、已經有了滿大的肚子、早晚就要臨盆了。她要不了幾天、就要生囉。這時安人想、我大兒小兒都懷了九個月、沒得十個月、現在懷裏究竟是麼事、她在七思八想啣。這怎麼辦呢。挨卓子沒有挨掉。但掃他掃不下來。她頭髮都白了一半了囉。還要養毛毛、哪養得出來呀的。老員外在前面書齋坐到、煩不過、打個呵欠、手將茶几撐着腦殼睡着了呀。那天上一朶祥雲、從天而降、到了門口、紅光一閃。那個雲朶裏、有個怪物、青面獠牙、紅頭髮、頭生雙角、巨口獠牙、右手持銀錠、左手執朱筆。所謂朱筆就是紅毛筆、就往員外安人的房裏跑呀。紅光一沖、員外老人一覺醒。「哎呀。我在做夢呀。」他氣色不好。明明一個妖怪呀、從天而降、跑到那房裏去了。正趕到那房裏呀、「哇、哇、哇。」生了呀。有個丫環來報了喜信、「員外呀、老安人她降了產了呀。」哪裏養了個兒子呀。明明是妖怪放在床上。大兒子走到房裏來。大媳婦王氏說、「公公呀、生了個三兄弟呀。婆婆昏血、她睡着了。你不要看看三兄弟

呀。」

第二個兒子包海他來了。「老頭、媽養了個么兒子。」「這倒不說哩。我做的夢裏、有個妖怪跑到房子去了。有兩個角、巨口獠牙。哎呀、嚇死我了、我的兒呀。」「老頭呀、你歇一下、歇一下。」把老頭扶到書房裏、小兒子回到自己的房裏。老安人養的是不是妖怪呢。這就是余下我要講的題目「奎星下界」哩。奎星是個廿八星宿第一星、就是以後的包公。這個么兒子叫做包公、就是包黑頭、這是以後再說。包海到了自己房子裏、二奶奶問他、「你媽不怕醜呀。我都没有生呢、你媽又生了么兒子。」「你這個婆娘。媽要生呀、我怎麼辦呀。我的這個老媽。二一添作五的家當變成了三一三十一。你說、兩個多好呀。我的媽又養了個老么呀。」這個二娘不是好東西。「你來、你來。我跟你說、你老媽生個仔、趁着媽睡着了、把那個小仔子扼死了、好不好。我們把他丟掉了、還是兩弟兄嘎。員外他不悅、你就莫提家當的事。你要提家當的事、老頭他不会聽的。你就說妖怪不吉利、就叫他丟了他、他就叫你去甩呀。」「賢妻呀。你這個巧牙靈嘴。」第二個兒子包海、就來到員外的書房門口。跑堂的說、「噢、二少爺來了。」「來了。」「來找員外的嗎。」「找員外的。」「他正在房裏。員外呀、員外。」「你在喊麼事呀。」「二少爺來了。」「有事找你呀。」「我下去伺候。」「家門不幸哪。生了個妖怪啣。」

二回 包海對父親

「老父親不必要愁眉苦相。」（員外）「我好愁呀。」 兒包海施一札跌跪書房。（員外）「呀呀。你曉不曉的。我為父的着急。」 兒知道爹心中很不快爽。（員外）「你曉不曉的你的媽生個妖怪呀。」 產妖邪這件事不能怪

娘。（員外）「不怪你媽、怪哪個呢。她四十幾歲、還生個妖怪呀。」 老娘親一生喜賢淑漂亮。（員外）「可這些年數、她又不怕醜、又生了一個呀。」 生養我兩弟兄恩德難忘。（員外）「生你的弟兄、那可了得。」 十月的懷胎苦難以尺講。三年的乳撫恩綿々情長。冒算到今日裏禍從天降。

（員外）「你媽生了妖怪、這就怎麼辦呢。」 產妖邪玷辱了娘的賢良。（員外）「氣死我了氣死我了。」 氣得爹在書房滿腹惆悵。（員外）「越說我越心焦、如何是好、我的兒呀。」 曾恐怕到以後家敗人亡。說到此兒有言不得不講。這件事望父親快拿主張。（員外）「兒呀。為父的實在沒得辦法。你有没有好妙計。」 如果是留着他不堪設想。到後來一家老少被他吃光。（員外）「他長大起來、將來要分了家財、就要變成妖怪的呀。」 唯有送他走不等天亮。拋丟到錦屏山還要趕忙。（員外）「又不是別人見怪、要趕早趕快。」 或是行或是止父親酌量。請父親想為兒舌尖嘴長。」（員外）「講得好、好計呀。」

員外還詞

「一番話解開了我的煩惱。父不怪我的兒你說話明瞭。這妖怪不能留還要趁早。快抱到錦屏山把他丟拋。」（包海）「那我用甚麼東西裝到呢。」 用一個茶葉簍把他裝好。（包海）「那我趕快去拿簍子來。」 這件事包海兒你要代勞。（包海）「那你吩咐、我不敢違呀。」 你切切不能讓別人知道。包村到錦屏山五里之遙。一路上要謹慎把他背好。要做得神鬼不知靜悄悄。（包海）「不要哪個察到、那我會的。」 如果是你的娘問起來了。一切事有為父我去開消。你快去拿簍子書房等倒。我馬上進房去抱出孽妖。囑咐的言和話兒要記好。（包海）「你說的話、我都記好了。」 為包

門除妖邪雲散天高。」

〔講〕老員外論為小兒子說的話合了自己的心思、命包海備好茶葉簍子在書房等候。包海回復了李氏、備簍書房。員外自己到安人房中、支開丫環和大媳王氏、抱起小孩一看、黑得放亮、交包海裝好往錦屏山去了。員外回到安人房中坐了一会、周氏蘇醒、問、「小兒在哪裏。」員外說、「夭折了、已經埋了。」安人傷心了一番。還是員外百般安慰。

再講包海匆匆忙忙到了錦屏山、已經是二更天氣、見一坑深草、準備抱出小兄弟、只見草叢裏綠光一閃、一陣腥風、一聲虎嘯。原來草內臥着一隻老虎。綠光是虎眼迸射出來的。嚇得包海連褲子都尿湿了、丟了簍子、跑回家中、也不通稟父親、鑽進被窩戰戰兢兢。李氏見狀、問他怎麼這樣。

這個不孝的奴才呀、把老頭子挑撥到哇。老員外死都沒想要這個么兒子、就向第二兒子說、「你拿個茶葉簍子來。」江南產出茶葉、那採茶的時候、是要用個簍子裝下去的。這個包海呀、就跑到房子拿茶葉簍子來、說到李氏聽。「賢妻呀、你的善計活了。我老頭聽我的話、叫我連夜把他背去甩到錦屏山了。」錦屏山離此有五里路。深更半夜有豺狼虎豹、你趕快、連飯都沒得吃、快去。」是、是。老二把茶葉簍子背好、就到房裏候老頭。回轉話來、再說老員外、商量了小驢子、就到了安人的房裏、對那大媳婦說、「你去休息呀。丫環會來把婆婆照到。」大媳婦一想、「我的爹爹還發麼威。前些日子沒看到。」公公呀。叫你耐得煩呢。」大媳婦一走、老員外把被窩一揭、往被窩裏一眇、「我的娘呀。從腦殼到屁股黑得像個硯盤、還有放光呢。這不是妖怪是麼事。我也長得白、我的婆也長得白、我的兩個兒子長得白。這養的么兒子黑得放光呀。」老員外把他一包、

放到書房、交給第二兒子、「海兒呀。莫給別個曉得唉。趕快抱走唉。包海把仔往茶葉簍子裏放、挾在腋下就走了。回轉話說包老員外、轉到房裏、坐了一下、老安人周氏打了個哈欠、「哈、哈、哈。呀。老頭子、你怎麼才來呀。那個仔出了世、你不得不看呀。」安人呀。我曉得把你吃了虧了、你還好啥。「我的仔咬、是男仔、是女仔呀。」安人兒子是生了個兒子呀。不過、那個仔、身桿、腳板、手、鼻子、眼睛、他樣樣都有、就差一樣啖。「怎麼的。身桿、腳板、手、鼻子、眼睛、他都有、差個麼事呀。」差一口氣呀。」把這話一說、老太太哭得淚如雨下、「我的么兒呀。」安人莫哭。我叫第二兒子把他埋了。作媽媽的生還容易、撫還難。十月懷胎、三年乳。死了算了、莫哭。」把安人哄得相信了。

回轉話來、再講包海、把老么挾在懷裏、到了錦屏山。因前山是懸岩峭壁、所以走後山。到了後山、走到半山腰、只見好深的草呀、有的地方的草、有一人那麼高。「我要把那小崽子拿出來、甩到草叢中、讓豺狼虎豹吃了算了。」等到把簍子放下來、只見草叢中有兩道綠光對着人一射。兩道綠光都不說、還聽到嗚嗚的吼聲、有隻老虎趴在那裏。那綠光、就是從虎眼中射出來的。那老虎一叫、包海嚇得怕、「哎喲」爬起來時、褲子都濕了半頭、再也顧不上小孩子的事了。把簍子一甩、掉頭就跑、跑得汗流浹背、七吼八吼、一下子沖進來、往房子裏跑、把被窩一揭、倒在床頭、把頭一蒙、那人直發抖把床都抖動了。李氏想、我那沒有用的咳血的、丟丟丟把自己弄成打皮寒（瘧疾）的。「哎。你在作麼事。」把被子一掀、李氏走上前來、要問那沒用的短命鬼。

三回 包海對妻李氏

「你問我為甚麼回來就睡。我這暫已經是魂散魄飛。把三弟我裝進茶葉簍內。連夜到錦屏山行走如飛。到山中見深坑忙做準備。忽然間閃綠光一陣風吹。原來是一隻老虎臥在草內。見有人叫一聲發了虎威。我当时只駭得軟了双腿。丟簍子轉往跑氣力寺微。戰兢兢直累得汗流挾背。若遲挨一定是難把家回。冒算倒我与妻還能相會。除掉了小三弟我不怕吃虧。保家財二一添作五我不失悔。如不然三三十一要吃大虧。便宜了哥和嫂你說得很對。我夫妻總是在上當吃虧。你叫我還要去回復老鬼。把老鬼要哄得喜笑揚眉。」

〔講〕包海又去回稟父親、丟得很順利、說不定被人撿走。員外說、你母親那裏為父已安頓了。包海回房自思以為做得天衣無縫。誰知隔牆有耳。他夫妻剛才的話言語語、被大嫂王氏聽得一清二楚。因包山收租未歸、王氏在前天井暗處等夫婦、見老二慌慌悵悵回來、沖進房去了。王氏以為惹了禍、隔窗聽清後、毛骨悚然、回房心亂如麻、自思自嘆。

那一对狗男狗女、良心都讓狗吃了。不管怎麼說是一個母親生的。你看他們作的這事。兩個人作得天衣無縫、還要回復老鬼、把老鬼哄好一些。老鬼当了家、掌了權、把他哄好了、我們再見機行事。包海趕緊爬起來、到了書房、把頭一低、「爹呀、丟得滿順利。我丟到山崖、來了一隻老虎、我就跑回來。准是被老虎吃了。」「好。一会我哄你母親、說生出來就是死的。」包海認為作的事天衣無縫、神鬼未知、沒想到隔牆有耳。「要想人不知、除非己莫為。」剛才兩人說的話、被窗外的一個人聽得一清二楚。哪個人。大嫂子王氏。因為老大不在家、老大外出收欠帳未回、大嫂是個良家人、「丈夫未回來、我怎麼能睡呢。」她前面有一天井、天井傍種的是葡

萄、在葡萄架下有一個小板凳、她就坐在那裏等丈夫回來。包海出去丟仔、碰見老虎、就嚇得往家裏跑、大嫂看見他急急地未作聲、心想是不知在外面惹甚麼禍了。「我這個老二、二十多歲的人了、還在外面惹禍。可能後有人在追、如果沒有人追、不會回來的。」看到老二跑進房裏啾啾嘰嘰的、大嫂走進來、貼着窗戶聽。嚇得毛骨悚然。「老二和媳婦作得不是人事、竟把老么丟在山上。」大嫂回到房裏、大哭起來。大嫂是良家人、聽說老么被丟、傷心地哭起來了。

四回 王氏自嘆

「坐房中不由人心神混亂。思想起時才事毛骨悚然。恨包海他不該謀弟凶產。兩夫妻做的事黑心亂肝。曾不想二公婆樂施好善。救人急濟人難広結善緣。久行善仍然是家財萬貫。在地方一直是富蓋全灣。積善家應該是皇天照看。神天佑婆年邁生下老三。包海弟兩夫妻人心不滿。大不該為祖業起心大殘。這件事二娘子主謀一半。她的心是無底洞又奸又貪。我們是長哥嫂該做模範。凡百事讓他夫妻一忍為安。冒算到他今日包天大胆。為必是老公掌不住舵盤。聽他們說的話確有委宛。牽涉有老公公事在兩難。我不能去明說只有用暗。連夜暗暗地找回老三。把三弟當親生盤撫上岸。對公婆要隱瞞不能說穿。主意定我就是這個打算。怕又怕三弟被猛虎拖舍。要望祈包門中神相照看。等夫君收租回再作主權。」

〔講〕王氏正在悲泣、包山收租回了、見妻落泪、問了情由。包山說、「賢妻。錦屏山、離此五六里路。前山峭壁陡岩、定是丟在後山。彼我馬上去尋回三弟。」包山走後、王氏担心老虎傷人、又恐找不着三弟。默誦觀音心經。且說包山急急奔到錦屏山後、四下找尋、見一片深草如礮壓了一般、又見

茶葉簍子內有三弟、為必是虎吃了。再往前行、一尺多厚的草上、爬着個黑漆漆、亮油油、赤条条的小兒。包山解衣、包好抱回家來。天已快明、王氏喂奶、夫妻商量、房中有兩個孩子、別人看見、就要生疑、只有捨子留弟。包山知道本村張德祿家一子、月未滿天折、趁天不亮、將己子送張家寄養、用銀压了口舌、回家把三弟起乳名黑子、由王氏精心撫養。

光陰易過、轉瞬黑子到了七歲。從來哭過笑過、不言不語、有人逼他也不理採。人人嫌棄、只有「父母包山夫妻」百般痛愛。一日、老安人周氏五十壽辰、不請外客、自擺家宴。王氏領黑子與祖母拜壽、包山夫妻拜後、黑子雙膝跪在祖母面前、三拜九叩。安人眉開眼笑扶起、抱在懷中、喊「乖乖。七年前老身產的兒兒、若是活着、與他般大般長。王氏聞言、雙膝跪地、「請問這是為甚。」

好一個賢慧的王氏、正在哭時、老大回來了。老大收租回來了。「賢妻呀。我看你眼淚漉漉、是為了何事傷心。」「夫君呀。」把事情的前前後後、左左右右、變變曲曲、說得一清二楚、三明四白。老大就恨、「我的二弟。你怎麼不顧醜。我那父親是年紀大了、疑心疑鬼。你為甚麼障害骨肉。賢妻呀、把燈籠点燃、讓我連夜趕到錦屏山上、我去把老么找回來。」「夫君呀。錦屏山前頭是懸崖峭壁、你要找的話、就到後山去找。把燈籠点燃了、老大包山把長衫一抓、就往腰中一插、往山上跑去了。老大到山上去找老么去了。可憐王氏、還在担心、她怕老虎已經把老么吃掉了、就頌起觀音來了。要求大慈大悲的觀音菩薩保佑老么、要塔救老么。這樣、她就敲起了從來沒有敲過的木魚。

再說老大包山、忽忽忙忙來到後山一看、「在哪裏。」提着燈籠滿山找、

「菩薩保佑、菩薩保佑。」他在喊「菩薩保佑」、她媳婦還在家敲木魚、只見草叢中有動靜。包山走上前來、把燈籠提來一照、我的娘呀。這塊草地被压得平平整整、一個茶葉簍子在傍邊放着。老大走上前一看、認出是自己的茶葉簍子。孩子呢。老人在压平的草地邊看到有一個小孩、赤掉黑不溜秋的一個小孩在那裏亂動。老大走上前、「我的三兄弟呀。」把衣服脫下來、把老么一包上、包好後、往茶葉簍子裏一放、就往家裏跑。跑回家後、只見王氏還在敲木魚、還在念經。「賢妻呀。多虧你信觀音菩薩信得好、我把老么找了。」「給我看看。」王氏已有身孕、看到老么、解開扣子、老么咬住奶頭、就死勁吮奶。老大說、「賢妻呀。這不能讓姻好和老爹知道了。」「你是不是把老么撫養起來。」王氏答、「夫君呀。要是有人說有兩個孩子、要是公公知道了、那還不是麻煩。把你我的兒子趕緊包起走。張家的孩子剛夭折、你趕緊送過去。給點錢說是張家的兒子。」世上哪有這麼好的媳婦呢。把自己的兒子送別人養、自己來養婆婆的兒子。那時候就有這麼一位嫂子。老大看着妻子、跪下、「賢妻呀。我還未想到你有這樣好。」就把自己的兒子送到張家。留下一些銀子、又封口說、就是張家自己的兒子。這一切都安排好了。以後、夫妻既安撫養老么。包山說、「賢妻呀。老么不能說是老么哦。我們要改口、只說是你的一個兒子。現在我怕的是老二。如果老二知道了、那不會讓老么活命的。老么呀。嫂子現在就是你的娘了。」就把老么起了名、奶名、叫「黑子」、「包黑子」。兩人把這孩子精心撫養、巧的是孩子傷風、感冒、痘癩、發燒、百病俱無。夏天白天不長癩子、到了冬天、鴉雀都不爬一個。

就這樣、過了七年。黑子也滿了七歲。黑子的祖母、其實應該是姻好、

要過五十歲生日。老頭老娘、未請外客、只擺家宴。兒子、媳婦、孫子在
家裏聚會喝酒。兒子、媳婦給祖母拜壽。黑子長得比同齡的孫子高、只見
他也跪在了祖母面前。「祖母呀。孫兒黑子給您拜壽。祝祖母福如東海壽
比南山。」真是奇怪、也沒有人教他、他還知道、「福如東海、壽比南山。」
有模有樣地拜了三拜、叩了九個頭。那作揖的樣子、比大人的還規範。老
員外一想、這個仔怎麼那麼賊呀。老安人走上前來、把孩子扶起來、「乖
乖。你和我么兒子同年出生。要是我么兒子不死、就和你般同般大了。
我的兒呀。」婆婆把這話講完、大媳婦大哭起來。大媳婦走上前來、跪在
了婆婆面前、「婆婆呀、媳婦有罪、有事瞞着了婆婆。」婆婆一看媳婦哭起
來、「是甚麼瞞着我呀。」婆婆走上前、拉着媳婦的手、問媳婦。看媳婦如
何對婆婆講的。

五回 王氏對婆婆

「為媳的跪婆婆前泪往下吊。求婆婆原諒媳把罪恕饒。媳有罪瞞婆婆恕我不
孝。這黑子是婆婆生的老么。并不是落地亡把他埋了。本是媳抱回房撫至
今朝。多只為婆懷他年紀不小。老公公常嘆氣心不樂陶。婆總在想辦法把
胎打掉。為媳的藏暗處瞞了又瞞。婆分婉昏迷後媳生計較。求公公讓為媳
盤撫老么。只因為婆母娘年齡大了。受不了撫育苦日夜操勞。老公公聞此
言喜之不了。誑婆婆假說三弟命歸陰曹。嫂撫弟媳應該尽点孝道。我夫妻
略可報二老劬勞。小孫兒送他到別家去了。寄託與張德祿撫養代勞。今日
裏婆婆娘五旬壽到。我夫妻代三弟來慶蟠桃。吐實言請婆婆恕兒不孝。小
三弟已七歲長了這高。」

周氏還詞

「為婆的連忙將孝媳扶起。這樣的好媳婦世間罕稀。尽孝道捨親生撫養三
弟。這美德堪稱為賢良第一。七年前娘生他如同夢裏。年紀邁筋血差渾身
無力。蘇醒後不見兒不知底細。你公公他說是死得可惜。冒算到賢孝媳深
明大義。嫂撫弟千古無雙你是唯一。媳婦的這美德不能忘記。婆心該賜名
号我的媳婦。聖賢人三個字天經地義。子而孫孫而子向你學習。轉回來喊
么兒娘有話叙。從今後喊嫂娘始終如一。將黑子改三黑爭苦凶氣。切莫忘
嫂娘的教養成立。叫包山把孫兒接回家裏。要酬謝張德祿操心勞力。」

〔講〕王氏雖是吐了實言、但還是隱瞞了老二謀弟凶產的事、半真半假的
話、感動了公公包懷。按照媳婦的話、向安人賠了不是。婆婆喊王氏是賢人。
包三黑也就是以後的包公、稱賢人為嫂娘、長哥長嫂當爺娘這句話、以後流
傳與後世。包海與李氏做夢都冒算到黑子是老么、并不感激大嫂隱瞞真相、
總想害死三黑、有賢人照心、無她下手。

包山已將兒子接回、重重謝了張家。轉瞬二年已過、三黑九歲了。包海父
前進讒、莫慣失老三。恐日後好吃懶做、不知勤儉。跟長工老周的兒子學牧
牛羊、免吃閑飯。員外商量安人後、囑咐了老周。老周囑咐兒子長保、天天
帶三官人出去哄他玩耍。主僕放牧、或山上或河邊、總在五六里之遙。一日
到錦屏山鵝頭峰、長保與眾牧童嬉笑玩耍、三黑總是一人或觀山水、或席地
而坐、或枕石而眠、像總有心思一般。一日天變、三黑進山、寓古廟躲雨、
閃電雷鳴。三黑在供桌前盤膝而坐、驚雷轟頂、覺得身後有一人摟抱自己。
回頭看、一女羞容滿面、惧怕驚雷。三黑脫外套、將女子与自己一并遮護。
雷聲愈急、不離頂門。三刻工夫、雨小雷止、却不見女子。三黑納悶出廟。
長保找來、一起趕牛羊回家。剛到村口、二嫂的丫環秋香端一盤油餅來、說

是二主母做與三官人吃的。三黑拿着往嘴邊送說、「謝過嫂嫂。」忽手一麻，像有人打了一下，餅掉在地上，被老周喂的黃犬腳走了。把牛羊剛趕圍裏，只見黃犬七竅流血死了。老周問了長保後，請三黑到自己房中，囑三官人，「二主母再給吃食，切切莫要。」三黑不快，「莫離間我叔嫂不合」，回房并不告訴別人。過了三天，秋香來請三官人到李氏屋內。二嫂滿面笑容說，「秋香昨日到後園，聽見枯井內有人說話，喊我回去。在井口往下看，頭上金簪落到井裏。金簪是婆婆把的。恐婆婆責怪，叫別人打撈，井口又小，又佻揚出去。請三弟下井拿簪。」三黑答說。李氏用繩系在三黑腰中，主僕慢慢往下放三官人。剛放一半，上面喊「拉不住了」，繩子一鬆，三黑撲通一聲，落在井底。幸好枯井內潮濕，長滿藤草，却未摔着。三黑這才信了老周的話。「二嫂害我。」忽然前面金光一閃。三黑以為是金簪，向前一撲，光往前竄。三黑趕得滿面是汗。約趕了里把路，撲住一看，見銅古鏡一面，揣入海中。正在納悶，黑暗前面有一線亮光。往前爬，有草。用手一扒，大亮。鑽出一看，乃花園後坪外地溝。回到家到嫂娘房中，渾身是泥，揪嘴發氣。王氏賢人，大吃一驚，問，「三弟從哪裏來的。怎麼這樣。」

婆婆把媳婦起了一個名，原來是不叫媳婦，叫賢人。媳婦就是王氏賢人。婆婆把黑子拉上前來，「黑子呀。你以後不是黑子，叫三黑啲。黑子改稱三黑。以後嫂子要喊嫂娘啊。嫂娘的說法，在包公出世以前是沒有的。包公出世後才有了嫂娘。又是嫂子，又是娘。包三黑走上前來，畢恭畢敬，三拜九叩，「嫂娘在上，黑子給您請安。」把話說白了，媳婦只說出了一半真相，只說「怕婆婆養不活」，老二如何丟棄老么的話，一概未講。公公老頭子聽着心裏明白、想，我這麼媳婦真是不簡單。老頭也對婆婆講，「婆

婆呀，對不起。還是媳婦有良心，怕你養不活。第二個兒子一想，我這大嫂子做些鬼事，叫老大把老么從山裏引回來了。老二怎麼想，心裏都不痛快，總是要找機會害死老么。但不能下手。怎麼呢。老么被嫂子帶着。有個嫂娘。除此以外，還有個親娘。兩個姻好把他護着，那怎麼動手呢。急死人啊。」

老大包山已把自己的兒子從張家接回，重重酬謝張家。因為張家把自己的兒子撫養了七年，如何不酬謝人家呢。從兒子找回來，又過了兩年。三黑子已經滿九歲了。包海有些着急，在父親面前，說了好多次，「爹呀。老三却滿九歲了。在家坐吃山空，也不好。忘該讓老三幫家裏放牛。我家有個長工叫周，老周的兒子叫長保，可以和老么一起學放牛、放羊、學着幹事。」員外老人家，也不想要這個老么。他有疑柄，還懷疑他是妖怪。「好。我跟你商量商量，再說吧。」員外包懷與夫人商量後，就讓包黑與長保一起放牛、放羊。長保的父親老周，叮囑長保，包三黑是東家的公子，我們是幫工的。你不要他趕牛、趕羊。只讓他跟你作個事，還要把他服伺好，把他哄好點。」長保是個機靈鬼。長保和三官人每天早出晚歸。包黑坐在那裏，總是不和別人搭白，又不說，又不笑。牛羊打架，他也不管。長保一看，就想，「我的這個三官人，該不會是個傻瓜吧。這些天，一句話也不講。」過了幾天，他們來到了錦屏山的鵝頭峰，把牛羊放開。就在這時，夏天了。只見雲在東，霧在其西，南邊日被遮，東邊雨往西邊湧，天氣變了。長保說，「三官人。那山坡上有個古廟，你先在那躲躲雨。我把牛羊趕過去。」包三黑就進了廟，一脚跨進廟門，只聽到「轟、轟、轟。」打起雷來了。三黑走過那供卓。供卓還圍了卓布，上面埋着祭品。三黑對

着圍卓、面對廟、盤腿坐下。「轟、轟、轟。」又打雷了。有兩隻手一把抱着他的腰、三黑子一看、那供卓內藏着一位姑娘。只見那姑娘、把三黑子抱起來。那雷就朝供卓那裏打。三黑不說話、心裏很清楚。「這姑娘可能是害怕打雷吧。」趕緊把外套脫下來、就「小姐、你蓋上。」就連人帶胳膊都起來了。只見那雷一個一個朝那供卓打、打得有回聲。過了不一會、雷聲小了、太陽出來了、天氣好了。三黑把衣服一收、左右一看、「哦、小姐呢。」那姑娘到哪裏去了。連個人影都沒有看見。這還真是奇怪。三黑甚麼也不講、只當甚麼事都沒有發生過。三黑在廟裏到處看、到處找。是個破廟、又沒有和尚、真是奇怪了。三黑走出廟來、長保也找來了。「三官人。沒有淋到雨吧。」長保。我沒有淋到雨。」說完、兩人就趕着牛羊回村了。到了村頭、只見坐着一個人。是誰呢。是三嫂家的貼身丫環、叫秋香。「三公子。你二嫂作了油餅、叫我送給你吃。」秋香用盤子把着油餅。三黑走上去、想、「我那二嫂人真好。還作油餅給我吃。」三黑子把油餅拿上手、口一張、準備咬上一口。正在這時、好像有人使勁打了一下、三黑的手臂、感覺手一鬆、油餅掉地下了。黑子停下來、左右一看、不見任何人影。只有秋香在他的後面。「是誰打了一下我。」油餅掉地後、長保養的一條狗、黃色的、看着挺凶的、跑過來、把油餅叨起來、就跑開了。長保叫起來、「黃狗子。那是我家的少爺吃的。你怎麼把它叨跑了。」辺叫辺擡、那狗也辺跑辺吃、辺吃辺跑。只見吃了油餅後的狗、搖搖晃晃、口吐鮮血、倒地死了。二嫂讓人送油餅給三公子吃、被狗叨走、狗吃了後死了。這是不是被下了毒藥。長工老周在想、把三黑叫到房裏後、告訴他、「你二嫂給東西你吃、你不要吃。你看。要不是黃狗子吃了油餅、那倒在地下

的、可就是你了。」三黑子却說、「老周呀。您一大把年齡了。可不要挑撥我們叔嫂間之關係。嫂子如何害我。你這是瞎說。」他一点都不相信。把嘴角翹起、生氣地回家了。三黑把此事未說給嫂娘聽。男子漢、大丈夫、有點事情、要放在肚子。他甚麼都沒有講。過了三天、第四天時、秋香又來找三黑、說二嫂找他。包三黑來到二嫂房間、「二嫂呀。你麼事、請講。」來、來、來。我的後花園有個枯井。昨天聽秋香說、枯井裏有人在說話。我不相信、就把手扎進了井口、看看究竟。不料頭上的金簪子掉在井底了。老么呀。那簪子是婆婆送給我的。丟了不好。你只有九歲、個頭小。我繩子都準備好了。我把繩子綁在你腰上、放你下去找找看。」二嫂呀。既然嫂子說了、我這做兄弟的只有就勞。來、你把我綁上。」就這樣、二嫂就讓三黑下井了。繩子剛放了一半、二嫂喊、「老三、抓不着、抓不着了。」把手一鬆、「撲通」的一聲、黑子掉到了枯井底。井裏沒有水、但老三掉下去、連皮肉也沒給傷着。三黑這時想起、老周講過的話不錯啊。嫂子是真的要害我。「嫂子、嫂子。你把我提上去呀。」二嫂早就跑開了。可憐包三黑、坐在枯井底哭了一場。「呃。前面甚麼東西放亮。該不是嫂子的金簪吧。」身子一撲、手一抓、沒抓到。又一撲、又沒抓到。就這樣、一撲一抓、擡了有一里多路、終於抓着了。一看、是一個銅鏡。那時用的是銅作的鏡子。「為這鏡子、我這下子就跑了一里多路。」又一看、還有亮光。三黑爬出三里開外、發現有草、扒開一看、是後花園的地溝的通气口、從陰溝裏跑出來了。嘿、包三黑的法力無邊。他已經幾次死裏逃生、他不会死的。死了、就沒有書可說的。包三黑跑在陰溝後、嘴巴翹起、「二嫂為何要害我。」回到自己房間、嫂娘王氏賢人一看、渾身是泥、小嘴翹得高

高地、「我要問問看。看他到了哪去了。」王氏嫂娘要問三弟、看三弟是如何說的。列位請聽。

六回 三黑對嫂娘

「見嫂娘我不知從何而講。今日裏弟險些命見無常。我是被二嫂嫂害得這樣。她幾次謀害我，我不賢良。前三天去放牧錦屏山往。雷聲響天下雨，躲進廟堂。坐在那供卓前雷聲更響。忽然間我身後有位姑娘。我見她聞雷失驚，神魂飄蕩。脫外套蓋住她，怕有損傷。風雨停雷聲止，收衣觀望。無影形却不見那位姑娘。來無影去無踪，令人猜想。與長保轉歸家，遇着秋香。手端着一塊油餅，她對我講。是二嫂親手做，端與我嘗。我剛剛拿在手頭昏腦脹。手一麻，落地，上黃犬只哏。犬吃餅，當場亡七竅血放。那老周囑咐我把二嫂提防。今日裏命秋香又將我誑。說金簪掉井內，要我幫忙。用繩索系住我，突然一放。落井底，見前面有沓光亮。照亮光往前趕，抓住不放。是一面古銅鏡，在放霞光。又只見前面像天亮一樣。爬出來是地溝，緊挨院坪。但不知二嫂她為何這樣。這古鏡弟交與我的嫂娘。」

聖賢人回詞

「聽三弟訴情，由心情沈重。看起來兩次險多虧祖宗。這古鏡到後來一定有用。為嫂的暫收起，留在房中。弟躲雨這奇事如同做夢。難道是遇神仙無影無踪。問二嫂為甚麼將你欺哄。有些話嫂不能說出始終。你現在還年幼，當然不懂。異日後成了人，一竅百通。這些事要隱藏不能招來。切不可去告訴婆婆公公。對二嫂像往常一樣看重。量放大能忍，則忍警，惕莫鬆。男兒漢志在千里報答父母。嫂嫂我說的話，牢記心中。」

〔講〕賢人幫三黑洗淨身上，送他回房睡了。王氏回房嗟嘆一陣，二娘為

家當不顧手足，忘了倫理。適逢包山回了，王氏將事情說與夫君聽了。包山道：「二弟的一些作為，我只能裝痴。若明言，傷了手足和氣，添了妯娌不睦。我看三弟器宇不凡，行事奇異，將來必不可限量。我與二弟少讀詩書，何不延師教訓三弟。若祖上有德，得個一官半職，也好改換門庭。」王氏言，公公面前要好些說。

次日，包山來見老員外，說：「三黑放牧，不是正事。是下人做的。應請師教訓。我弟兄兩個書讀少了，有些為難的帳目，常吃人的虧。三黑若把書讀好了，可管些出入帳目。有些看不懂的書，我也好請教先生。」員外見說得有理，吩咐：「請一般的先生，就行了。教他三幾年，比我強些，就罷了。」

包山大喜，四處探訪名儒，非是違父命，因見三弟與眾不同，指名師教他，必能光宗耀祖。訪得離此不遠，有位寧老夫子，學問雖不可測，但性格古怪，教徒有三不教。一、笨了不教。二、學生只准帶書童一個進館，閑人不准出入。三、十年之內，只准先生辭館，不准東家辭先生。有此三不教，束脩不拘多少。故無人敢請。包山面見寧公，折日來接，備酒請師。師生見面，愛慕非常。先拜聖人，後拜老師。只帶書童包興，與三官人同庚。一來伺候茶水，二來也可學幾個字兒。這正是：「英才得遇春風人，俊傑來此喜氣生。」

且說寧老夫子入了師位，正式開館。三黑呈上『大學』一書，老師點了句斷、教道：「大學之道。」三黑說：「在明明德。」寧夫子曰：「我說的是大學之道。」三黑曰：「是。難道下句不是在明明德嗎？」寧夫子叫他再往下念。三黑曰：「在新民，在止於至善。」老師大驚，疑是家中有人教過他，或是別人背書他聽過，馬上換書，仍然如此。無論甚麼書，都是老師教上句，他便知

下旬。喜得寧公鬍子直翹，給三黑起學名「包拯」，取意將來拯民於水火之中。字文正，取意為「政」字，將來理國政為治世良臣之意。

轉瞬五年，包拯十四歲入學，榜發，案首秀才。整學酒時，老員外陪先生。員外長声短嘆。寧公問情由。員外說了「文正出世時得的夢兆是怪，後必家敗人亡。」寧夫子乃飽學，揀鬚指指，一默大笑，手拿銀錢，又拿朱筆，「定是奎星下界。」員外還是不信。兩年後，包文正十六歲，省考鄉試，中了舉人，依然大辦筵席。寧夫子勸員外，讓包拯進京會試，自己的束脩學金，全部送於包拯做盤費。員外無話可說，讓包興做半，摺日起程，頭天晚上，嫂娘餞行。

嫂娘把情況問清之後，就囑咐三弟，「三弟呀。你不要說甚麼。來，洗澡睡覺。」說了，嫂娘就家親母一拌，把三弟的衣服脫光，洗淨後，抱進被窩，讓他休息。王氏賢人心裏數落起二媳婦來，「我的二娘，你尽想着分祖上的家業，不顧手足之情。太要不得了。」她把這些又佷給丈夫包山聽。包山說，「賢妻呀。不要傷和氣。我是老大，甚麼話都不要說。不過，照你說的來看，我這三弟，毒油餅未害死他，掉在枯井裏也沒有摔死，說明這三弟以後有福氣。」賢妻呀。我們這三弟，今後一定会大富大貴的。以後，不要讓他放羊，要給他請一位先生，教他誦書。」

夫妻二人商量之後，第二天拜見老員外，「爹呀。三弟不管怎麼也是您的兒子。老是放牛放羊的也不是個事。應該給他請一位先生，讓他誦書。一是不讓三弟老在外面混，變壞了。二是我們有問題也好請教先生的。不知道您意下如何。老員外一笑，「大兒，就請一位先生來吧。請一個一般的先生，誦兩三年，比你我強点就够了。」

老頭子開恩，允許給三弟請先生，包山想，不能請一個一般的先生，要請就請一位水平高的老夫子。包山為三弟找老師，方圓找了三天，找到了一位老先生。有位姓寧的老夫子，學問不錯，但性格古怪。他教學生，有三不教。其一、笨的不教。其二、只准學生帶書本上堂，閑人免進。第三、十年內，只准我辭學徒，不准學徒辭退我。就是假一聘，就一下子聘請十年。正因為如此，多年來沒有人敢請。「先生，您說的条件沒問題。我要用轎子來請您當我家三弟的先生。不要說十年。常言道，一日為師，終生為父。我要讓我那三弟一輩子養您。」就這樣，把寧老夫子請到家裏來了。員外一看，氣不打一處來。「我這大兒子，真不是辦事。你看，他請來的先生，貓着個腰，駝着個背，比我都老些，走路都走不動，把這人請甚麼。」「爹呀。學問在肚子裏，人不可貌相。我訪了三天，只有這位姓寧的老夫子，學問大。一般人請，他還不去。」員外一聽，「哦」了一聲。包山就把三弟叫來，見過老師。老先生一看，「這學生不僅黑得發亮，而且兩耳垂肩，站立時雙手過膝。這是大富大貴之相，跟我一拌。」「來呀。筆墨伺候。」寧老夫子吩咐拿黃表來寫牌位，写下「大成至聖先師孔老夫子之位，千古文章，万世師表。」把牌位上供後，又写下「聖人堂」三個字。接下來，就要舉行拜師儀式了。「三黑，把香点上。開始拜先師了。」要拜孔老夫子，拜見師爺，然後要先生受揖，又給寧老夫子作揖。

先生拿出一本書，原來的書有五經四書，有『大學』『中庸』『論語』『孟子』『詩經』『易經』『春秋』等等。老先生拿出一本『大學』來，「三黑，就開始教你。大學之道，……」老先生念道，「在明明德。」三黑接下來寫到。「啊。我還沒有教他。我只說大學之道，他就知道接下來是在明明德。」

三黑呀。這書你在誦過嗎。」「沒有誦過。」「沒有誦過、你怎麼知道。」老先生想、可能是有人說、他聽到後記住了。「我要挾一本書。」結果、寧先生說上句、包三黑就接下句。寧老夫子喜得鬍子都要翹起來了。「我教了一輩子書、從來沒有碰到這麼聰明的學生。」寧先生見到員外說、「您的三子不是普通人、要給他起個學名。我看、就叫「拯。拯救的拯。以後要拯救萬民。字文正。以後要治理朝政。」學名起好後、老先生誨而不倦、學生學而不厭。

這樣、軫眼又過去了五年、包拯滿十四歲、入了黌門、做了秀才。原來中秀才、相似現在考上大學、要請客喝喜酒。在整學酒時、老夫子恭賀包員外說、「您家的這兒子了不得。」「先生呀。莫提這小奴才。提起他、我頭疼。哪裏出頭。出黑漆頭。他娘生他時、我作了一個夢、夢見這小子巨口獠牙、嚇死人了。」「啊。老員外呀。按您夢中的情況來看、應該是奎星下界。這是你老包家前世有福、修來星座。我今後也要跟着看您享清福。」老員外想、「有這麼好的事。這寧老夫子的話、你不能全信、又不能不信。」這寧老夫子的學問就是好。老員外還是很佩服的。

這樣、又過了兩年、包拯十六歲了。到了省城、考中舉人。寧老夫子說、「叫您的三兒子趕緊進京趕考。我教的学生、要做得上舉官、接上來可中狀元。我看過相了、他中狀元。做知果沒有問題。」老員外想、「我家代代都發財、但家裏人就是還沒有人做官。要有個人做官、那就太好。」寧先生講、「員外呀。我在我這賺的錢、我一個子兒都不要、全部給你三兒子作路費。」這話把員外給說楞了。先生教書的報酬、全部給兒子作路費。「包山呀。你就準備讓老三趕緊趕考吧。管它是公羊、母羊、試試看吧。」

嫂娘聽說後、趕緊給包黑子準備路費、頭巾、馬匹等、叫包興同行。說的是、有個書童叫包興的、與包拯同年出生。明天早晨起程上路。嫂娘把酒水也準備好了、心想、「我這做娘的給三弟餞行。」包山喊、「你嫂娘要給你送行。」嫂娘說、「這酒菜也擺好了。你慢慢吃慢慢喝。我還有話要對你說。」

七回 嫂娘與三弟餞行

「包拯弟坐席上慢把酒飲。為嫂的有一番言語叮嚀。想起你年幼時磨亂受。嫂撫你到七歲茹苦含辛。你哥哥挾名師將你教訓。口而誦心而惟溫故知新。幸喜你有恒心勤學發奮。入黌門緊接着得中舉人。這一次開大比弟把京進。願望你芝麻開花節節高昇。說到此嫂對你還有言論。做了官切不可得意忘形。莫貪凶嗟來食奸貪讒佞。貪贓枉法就要落千古罵名。食爵祿報朝廷要為官清正。一定要官清如水勤勉愛民。遇疑案多訪查高懸明鏡。重証挾秉公執法有冤必伸。切不可助惡人欺壓百姓。只想你落一個清吏之名。此番到京城去路途不近。有困難你就問書童包興。弟如今十六歲婚姻未定。在外面你自己見機而行。如果有相當的送信回郡。為嫂的稟公婆与你收親。囑咐的言和語牢記緊。為嫂的在家中靜候佳音。」

包拯還詞

「賢嫂娘說的話含有份兩。教訓言小弟我牢記心房。弟幼年磨亂多虧嫂撫養。常教我學古人苦坐寒窓。對我講梅花香寒冬開放。還說過那銹鉄久鍊成鋼。弟這次若能名登金榜。也不枉賢嫂娘教育義方。嫂娘問我做了官打算怎樣。施一札跪塵埃敢对上蒼。決不做貪官污吏玷辱祖上。為百姓保安居除暴安良。小弟我只唯求萬民尊仰。落一個鉄面無私四海名揚。婚姻事弟一定放在心上。如有合適的要經過嫂娘。弟走後嫂娘保重請莫掛望。」

堂上の二双親拝託嫂娘。叙衷腸耳聽得金鶏三唱。撤了席請嫂娘安宿進房。

五 おわりに

本稿では二〇一三年二月に漢川市で上演された台書『奎星下界』の記録資料を整理した。聖諭宣講を継承した現代の漢川善書は小説戯曲故事を改編した作品を上演することが多く、ここに紹介した『奎星下界』も小説『三俠五義』を善書形式に改編した作品であり、小説の叙述とは違って、中間に人物の宣詞を挿入して勧善の主旨を強調しているところに特徴がある。テキストは大綱を記したと言うべきものであり、実際の上演ではそれを基本として叙述を大きく膨らませている。本稿では宣詞第七回までを紹介したが、テキストは包拯が李文業の家の妖怪を駆除してその娘と婚約し、上京して進士に及第し、定遠県知県を授かって帰郷するところまで延々と語り続けられ、上演時間はおよそ四時間に及ぶ。この間、聴衆（主に高齢者）は飽きる様子も見せず、興味津々に耳を傾けていた。芸人の招致は市民の寄付によってなされ、芸人の接待は責任者の家が行っている。こうした新春の芸能活動は漢川市だけにしか見られず、漢川市文化館では善書芸能の継承に努力している。



上演を終えたのちの関係者の記念撮影
(主催者・文化館・宣講団・協力者)



テントの中で善書を楽しむ市民には高齢者が多い

李克武 300	李正超 1000	余永红 500	余凤娇 200	周志祥 100	余金喜 200
余凤娇 200	崔凤鸣 500	祝志 100	祝志 100	祝志 100	祝志 200
余显才 200	吴小梅 100	李学永 100	余红明 100	一能才 100	李桂水 100
李国兴 100	彭水成 100	彭少甲 50	彭少甲 50	余朝前 100	张本芳 100
吴秋芳 20	王昌红 50	王新学 20	汪立头 60	王中付 100	蒋本吉 50
吴世华 50	叶 10	叶叶叶 20	叶叶叶 20	叶叶叶 20	叶叶叶 20
吴科兴 100	罗国红 20	余永红 20	叶叶叶 20	李学永 50	李学永 50

功德榜（十元から三千元まで二百余人の寄付を掲載する）

（林宇萍 山口大学人文学部非常勤講師）
（阿部泰記 長江大学講座教授、山口大学大学院東アジア研究科教授）